

2017年1－3月期四半期別GDP速報（1次QE）
公表に際しての石原経済財政政策担当大臣談話

2017年5月18日（木）

1. 本日公表した2017年1－3月期GDP速報では、実質成長率は5四半期連続のプラスとなり、前期比0.5%、年率に換算すると2.2%となった。

名目成長率は、前期比▲0.0%、年率に換算すると▲0.1%となった。

また、海外での稼ぎ等も含めた我が国全体の所得（国民総所得、GNI）は、実質で前期比0.2%、名目で前期比0.2%となった。

個人消費が実質前期比0.4%のプラスとなったこと等から、内需はプラスとなった。また、海外経済が緩やかに回復するなかで、輸出が増加したことにより、外需もプラスとなった。

我が国の景気については、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復基調が続いているとの認識に変わりはない。

2. 2016年度について、名目GDPは538兆円となった。年度の実質成長率は1.3%、名目成長率は1.2%となった。また、年度の国民総所得（GNI）の成長率は、実質で1.0%、名目で0.5%となった。

3. 先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、「未来への投資を実現する経済対策」など各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性や、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。

4. 政府としては、一億総活躍社会の実現、働き方改革や科学技術イノベーションの推進等を図り、潜在成長率を高めていく。

また、骨太方針2017に向けて議論を深めて6月に取りまとめ、成長と分配の好循環の実現に向けた取組を加速していく。

（以上）